

豊かな自然のなかで楽しみながら健康づくり



所在地	福井市真栗町47-48		
設置年月日	平成6年7月1日		
施設の種類	健康増進・健康診査施設	施設管理主体	指定管理者:(財)福井県健康管理協会
設置の目的	健康で生きがいのある県民生活の確保に資する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階、延7,306.67㎡ 事務室、業務室、身体測定室、運動指導室、各検診室、栄養教室、研修室、会議室等		
職員数	指定管理者(職員27人)		

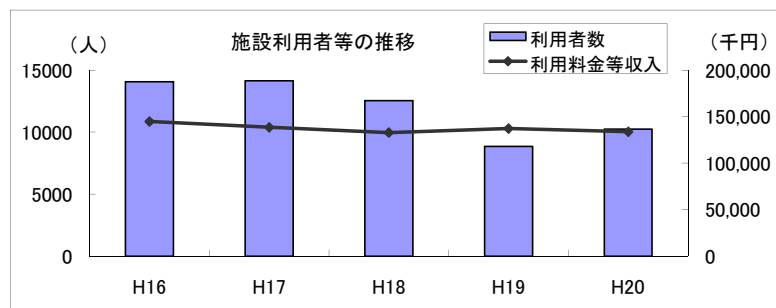
利用状況等

	H16	H17	H18	H19	H20
利用者数(人)	14,054	14,134	12,539	8,854	10,233
うち健康診査	5,116	5,335	4,858	5,111	5,078

利用者負担(利用料金)等

利用料金	健康診査	各種
	会議室	各種

※利用料金は、(財)福井県健康管理協会のHPを参照してください。



利用状況の推移	介護保険法改正の影響による市町からの機能回復訓練業務の受託減、事業所からの健康教室等の受託減などによって、利用者数は平成18、19年度と減少傾向にありましたが、生活習慣病予防健診を主体とした健診や健康教室等の各種健康増進事業の実施により、20年度は対前年比15.6%増となりました。
---------	---

施設の特徴

健康診査の実施

人間ドックや生活習慣病予防健診、がん検診など各種健康診査を実施しています。



健康増進に向けた指導

健診結果に基づき運動や栄養、休養について指導しています。

各種健康教室の実施

メタボリックシンドローム予防や女性の健康づくり、栄養教室など各種健康教室を開催しています。



健康相談の実施

健康に関して電話または来所による個別の相談に応じています。

運動障害回復訓練の実施

身体に障害を持つ人や障害の恐れのある方を対象に機能回復訓練や相談を行っています。

HPアドレス http://www.vcnet.fukui.fukui.jp/kenmori/shisetsu/nav_kenmin.html

平成20年度の特徴について

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から20年度まで(財)福井県健康管理協会が「ふくい健康の森」の指定管理者として指定を受け、けんこうスポーツセンターや生きがい交流センターなどとともに本施設の管理運営を行っており、健康診査を軸とした健康づくりの中核施設として事業を展開しています。 具体的には、生活習慣病をチェックする総合的な健康診査や人間ドック、動脈硬化・骨密度の測定など、県民のニーズに応じた各種健康診査を実施しています。 また、健康指導教室、クッキング教室、メタボ対策教室などの各種健康教室等を開催し、健康づくりを目指す県民の皆様の取組みを支援しており、20年度の参加者は1,563人(対前年比 24.7%の増加)となっています。
------	--

ふくい健康の森
県民健康センター(2/2)

行政コスト計算書(平成20年度) (単位 千円)

	総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%
	退職給与引当金繰入	0	0.0%
	賞与引当金繰入	0	0.0%
	計	0	0.0%
物にかかるコスト	物件費	73,418	28.4%
	維持補修費	0	0.0%
	減価償却費	163,920	63.5%
	計	237,338	91.9%
その他	支払利息	20,980	8.1%
	その他	0	0.0%
	計	20,980	8.1%
合計	258,318	100.0%	66.5%
収入	利用料等収入	0	0.0%
	一般財源	258,318	100.0%

バランスシート(平成21年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産	前年比	負債	前年比		
有形固定資産	1,735,545 92.2%	固定負債	608,781 89.2%		
うち建物	1,629,320 100.0%	うち起債残高	608,781 89.2%		
うち設備	106,225 41.9%				
投資等	0 -	流動負債	73,680 98.7%		
流動資産	0 -	純資産	1,053,084 93.5%		
計	1,735,545 92.2%	計	1,735,545 92.2%		

主な指標 (単位: %, 円/人)

	H20	H19	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	2,136	2,309	92.5%
県民1人あたり将来負担額	749	837	89.5%
世代間負担率	60.7	59.8	101.5%

バランスシート、行政コスト計算書の特色	<ul style="list-style-type: none"> ●物件費、維持補修費の増 …健康診査に要する医療機器が多く、それらの設備のうち老朽化が進んでいるものについては、順次更新をしています。20年度は更新した機器が少なかったことから対前年比が39.4%となっています。 ●利用料金収入の増 …指定管理者制度の導入で、利用料金等収入は0(利用料金収入を差し引いて指定管理料を支払う。)となっていますが、収入自体は、前年より微増となっています。 ●減価償却費と支払利息で行政コスト全体の7割を占めるなど、年間のコスト負担も大きくなっています。なお、健康の森3施設の整備で借入れた約188億円の県債は、平成20年度末残高で、約30億円で償還が進んでいます。
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●各種健康診査 …受診者のニーズに応じた健康診査のメニューの提供により、年間約5000人の県民に健康診査を実施しています。 ●健康教室・相談 …医師や栄養士など専門職員による健康づくりに関する無料相談への対応や肥満教室、禁煙セミナーなどの健康づくりに関する各種教室を開催しています。 ●機能回復訓練 …運動障害の方への機能回復訓練を実施しています。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●他施設と連携した魅力あるサービスの提供 …「健康の森」はすべての県民に最大限のサービスを提供することが求められる公の施設であり、けんこうスポーツセンター、生きがい交流センター(温泉)と連携を密にしながら、魅力ある取組み・サービスの提供に努める必要があります。 ●多様なニーズへの対応 …県民健康センターとしても、単に健診や健康教室を行うだけの施設ではなく、健康長寿への志向が高まる中、利用者の多様なニーズに対応できるような創意工夫が必要です。
今後の事業方針取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ●他施設との連携による効果的、効率的事業展開 …「健康の森」内の他の施設と一体となって効果的、効率的な事業の展開を図り、より一層の利用促進を図ります。介護保険法への移行に伴う機能回復訓練の減が予想される中、新たな需要の掘り起こしに努め、現状の利用者数維持を目指していきたいと考えます。 ●ニーズを的確に捉えた取組みの促進 …今後もより多くの県民の皆様にご利用いただけるよう、ニーズを的確に捉えた事業を企画・実施していきます。また、県民健康センターを活用し、健康長寿に関連するイベントを開催して、地域住民に施設のPRを行っています。

